

# Folk Museum Takumi no Yakata



## Cultural Properties of takayama Taue Taroshiro's house:

Two entrances of the farmhouse. Visitor use and domestic animal use. Kawajiri Jisuke build this house with spending 12 years. He built Kusakabe's house whose owner was wealthy merchant. Which is Japan Important-Cultural Property after apprenticeship in architectural noble family who made festival floats of Takayama Festival. Appreciate the Shamisen performance by the landlord indoors, too.



### Diorama:

Good old Japanese scenery. This reproduces the Takayama Station outskirts in N gauge. direct the night view can enjoy the coffee at the counter, too.



### Museum:

Until the beginning of Shouwa Period, the second floor was laid with drain board and they did sericulture at the second floor. The smoke is going to upstairs from fireplace at first floor through the drain boards, and it prevented silkworm from decaying with insect.

### Irori:

The hook in fireplace is shaped of fish, which is related to water, because of wish not for fire happening.



### Aquarium:

reproduce a Japanese mountain stream. Our country maximum freshwater fish 'Itou' The Sakhalin taimen (Hucho perry), also called the Sea-run taimen.



## INFORMATION



GW-夏季は18時まで延長営業  
館内 ホットコーヒーのサービス有

営業時間 AMS:00~PM5:00(年中無休)

※冬期は臨時休業の場合があります。  
事前にお電話にてご確認ください。

入館料 匠の館・森の水族館 全施設共通

大人 500円

小人 400円(小学生以下)

※20名以上の団体様には割引があります。



民芸ミュージアム

匠の館

高山市指定文化財 田上太郎四郎邸

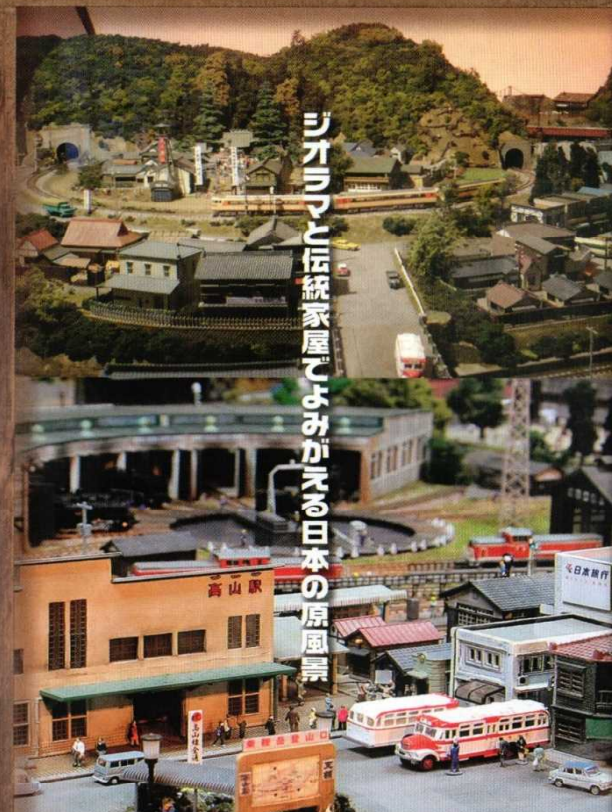
〒506-2117 岐阜県高山市丹生川町根方532  
TEL 0577-79-2505 FAX 0577-79-2220  
ホームページ / www.norikura.com

Address:

532 Gonbo Nyukawa-cho Takayama-shi, Gifu, Japan 506-2117

TRAIN

From Nagoya-(Takayama Line)-Takayama-(Nohi Bus Hirayu Line)-Kinsuienguchi



ジオラマと伝統家屋でよみがえる日本の原風景

Folk Museum Takumi no Yakata

民芸ミュージアム

匠の館

高山市指定文化財  
田上太郎四郎邸

## 夜の風景



駅前盆踊りも精密に再現され、各町内で盛大に行われていた当時の様子が思いだされます。



あの日のSLの音とともに、朝、昼、晩と照明が自動で変わり、夜には宮川の花火大会の様子も映しだされ風情を感じさせます。

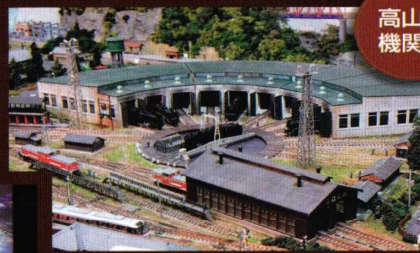
## 高山駅



高山駅舎は昭和9年の開業時に建設されました。翌年、その北側に高山濃飛バスセンターも建ちます。昭和30年頃から乗鞍、標高岳などへ登山客が多く訪れるようになります。それらを物語る活気ある高山駅周辺の、歴史の1ページをジオラマで精密に再現しています。

## 昭和の懐かしい風景が 時を越えてよみがえり

### 高山駅 機関区

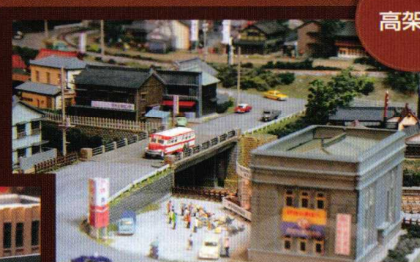


扇型機関庫、転車台、石炭庫、クレーン、高架水槽など、蒸気機関車時代の設備や高山駅西側を再現。



模型列車の「ワイドビューひだ」には、車載カメラを設置し、運転席からの景色がリアルにモニターに映し出されます。

### 高架橋

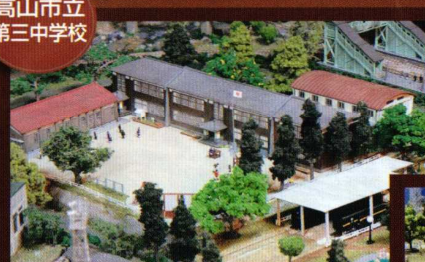


現在もその面影が残る高架橋。農産物輸入自由化に反対する決起集会の様子が見えます。



高山市内にあった映画館「有楽座」。昭和30年代当時の活気ある雰囲気よみがえります。

### 高山市立 第三中学校



昭和36年、駅裏にあったマンモス校。第一次ベビーブームをまさに象徴している景色です。



ポッポ公園は現在そのまま再現することで、お子様やお孫様と共通の話題を提供します。



匠の館は、飛騨を代表する伝統農家家屋として平成19年に高山市の文化財として指定され、飛騨の匠の資料をはじめ、昭和30年代の高山駅沿線を再現したジオラマや、企画展示のギャラリー、淡水魚を集めた水族館など飛騨の自然と文化がここに凝縮されています。



家主が地主として栄えた明治15年に、飛騨の匠の技を受け継ぐ名工川尻治助によって建てられ、玄関に足を踏み入れた客人をまず迎え入れるのは豪快な梁組、大指木、差鴨居、大黒柱の構成で支えられており、太い大指木は直径90cm、長さ8mと飛騨では最大級のスケールです。



現在ギャラリーの二階は昭和初期までは蚕を飼育する部屋で全体がスノコ床になっていて、いりりの煙が上がり防腐効果になっていました。



昔ながらの懐かしい磁石式電話と手押しポンプも体験できます。



森の水族館では、自然豊かな溪流を再現した水槽で、巨大なイトウなど、たくさんの淡水魚たちを観察することができます。

